

2018.06.01 版



## サイエンスアゴラ2018 募集要項

平成30年7月1日（日）応募〆切

## もくじ

出展を検討される方へのメッセージ	3
1. サイエンスアゴラとは	4
2. 2018年の取り組みについて	4
3. サイエンスアゴラ 2018 テーマとトピック	6
4. 募集する出展企画について	6
5. 前年度の開催状況と参加者の声	7
6. サイエンスアゴラ 2018 開催概要	8
7. 出展の形式（本年度より有料）	9
8. 応募の条件	10
9. 出展料金の詳細	10
10. 選考方法と審査の観点	10
11. 運営事務局について	11
12. 出展者のおもな年間スケジュール	11
13. 応募の流れ	12
14. オンライン応募フォームについて	13
15. 企画タイトル・出展者名の統一ルール	15
16. サイエンスアゴラ 2018 メイン会場（テレコムセンター）構成について	16
16-1. 会議室エリア	16
16-2. テレコムアリーナ	17
●ブース形式基本仕様	18
●共創テーブル基本仕様	20
●ステージ基本仕様	20
●ミニステージ基本仕様	21
17. 審査基準と応募申請書の関係について	21
17-1. 応募申請書項番 11～14 で考えたいこと	21
17-2. 応募申請書項番 15～18 で考えたいこと	22
●会議室・ステージ・ミニステージでのポイント	22
●共創テーブルでのセッションのポイント	23
●ブースでのポイント	23
付録：採択後のスケジュール	25

## 出展を検討される方へのメッセージ

サイエンスアゴラは、出展者が取り組まれている課題と、来場された皆さんの興味を混ぜ合わせることで、自分だけでは考えつかなかったアイデアにたどり着くためのきっかけを提供します。また、ここで出会った人たちが共に考え行動することで、進むべき方向が定まったり、新たなプロジェクトが始まったり、所属や立場を超えた創造的な何かを生み出す場になることを目指しています。

審査においては、科学と社会の関係をどう捉えているか、本質を捉えた問いやテーマを持っているか、という点が問われます。同時に、来場者にとっては素直に素朴に、「おもしろい、すごい!」と思える玉手箱のような出展が集まることを期待します。サイエンスアゴラ2018に関わることで、出展する人も、来場する人も、サイエンスの様々な物の見方を知り、考え、人生を豊かなものにしてもらえればと思います。

### サイエンスアゴラ 2018 推進委員会

委員長 駒井章治

奈良先端科学技術大学院大学准教授  
日本学術会議若手アカデミー活動検討分科会や Global Young Academy の Executive Committee 委員を歴任。性別、年齢、人種などの区別無く、科学者全員が活躍できるチャンスのある社会を目指す。専門は神経科学。



## 審査について

応募企画の審査とプログラムの構成は、今年のテーマ「越境する」を体現している推進委員会の委員が行います。自分とは異なる分野の様々な人と対話し、活動を広げ、相乗効果を生みだし、ご自身の研究等を発展させられるサイエンスアゴラを、出展者の皆様とともに作り上げていきます。



江守正多  
国立環境研究所  
地球環境研究センター  
副研究センター長

コンピュータシミュレーションによる地球温暖化の将来予測の専門家。一般向けに地球温暖化に関する解説書を執筆。メディアでも解説役を務める。



廣常啓一  
新産業文化創出研究所  
所長

次世代の社会や潜在的市場に、技術や研究(企業や大学)をどの様に結び付け、持続的・社会課題解決型の事業及びまちづくりをしていくかをプロデュース。



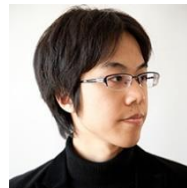
藤原聖子  
東京大学大学院  
人文社会系研究科  
教授

日本学術会議の科学と社会委員会で分野を越えた学術交流を担当。国際学会では専門の宗教学を活かし、異文化間対話をファシリテート。



松原公実  
三菱電機株式会社  
デザイン研究所  
ソリューションデザイン部次長

人と技術・社会・環境との調和を図りながら、幅広い領域でのデザイン開発に携わる。変化する社会環境を捉えた企画、他分野展開が可能なビジネス提案も手がける。



南澤孝太  
慶應義塾大学大学院  
メディアデザイン  
研究科 准教授

人の身体感覚を共有し拡張する身体性メディアの研究者。触覚技術を社会価値に繋げるHAPTIC DESIGNや、技術と文化と身体を融合するスポーツ共創などの活動を推進。



宮野公樹  
京都大学 学際融合  
教育研究推進センター  
准教授

思索と実践の自由な場を大学内で創出し、学問本来のあり様をもとめる挑戦を続けている。理工系出身ながら、現在は哲学の研究者。

## 1. サイエンスアゴラとは

サイエンスアゴラは、「科学」と「社会」の関係をより深めていくことを目的として、あらゆる立場の人たち（市民、研究者・専門家、メディア、産業界、行政関係者など）が参加し**対話するオープンフォーラム**です。※アゴラ（agora）は古代ギリシャ語で「広場」の意味

### ●サイエンスアゴラに集まる人たち全員が「参加者」

サイエンスアゴラは、出展することにも、来場することにも大きな意味があります。出展者にとっては、自身の研究や開発等、また、科学そのものの面白さ・深さを社会に伝える場であり、同時に、来場者からの声によって「社会に求められる科学とは何か」を考える場です。来場者にとっては、普段出会えない研究者や専門家の考えを知るとともに、これから発展する科学や技術に対する自らの希望を伝える場になります。サイエンスアゴラでは、出展者、来場者を合わせて「参加者」と捉えています。参加者がサイエンスアゴラでの体験を周りの人に伝えることは、参加できなかった人に対しても、科学と社会の関係について考えるきっかけを提供することになります。

科学技術振興機構（JST）は、サイエンスアゴラの間を通じて長期的に伝えていきたい考え方を「**科学と暮らし ともに語り 紡ぐ未来**」と設定しています (<http://www.jst.go.jp/csc/scienceagora/exhibition/>)。

20 世紀の科学技術は、富や力の追求と並行して発展してきました。しかし、限りある地球資源と世界のひずみを前に、今日の科学技術には限界も見え始めています。成長社会から成熟社会へと移行し、多くの問題を抱え、先行きの見えにくい今の日本では、関係者が集う場をつくり、科学と社会のこれからをともに考え、互いの考えを尊重して未来をつくっていくことが必要です。

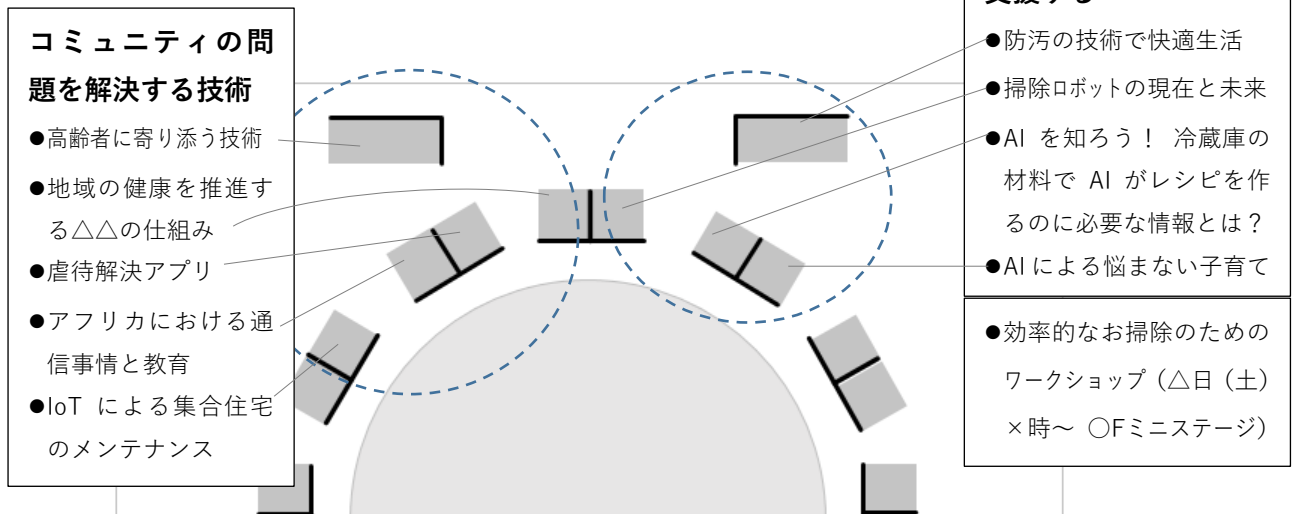
一人一人の暮らし・生き方に着目しながら科学のありかたを考えることは、ひいては社会全体を考えることにつながります。サイエンスアゴラは、研究者だけが集まる学会ではなく、子供たちだけを対象としたイベントでもありません。多様な価値観を認め合いながら、皆が共に考え、未来社会を創り出す「共創」を重視します。このような流れは、一足飛びにつくれるものではありません。あらゆる立場の人たちが対話・協働し、それを政策形成や知識創造へ結びつける「共創」に関心をお持ちの方は、ぜひサイエンスアゴラにご参加ください。

## 2. 2018 年の取り組みについて

### ●サイエンスアゴラ推進委員会によるキュレーションを実施

「自分たちだけで見ごたえのある完ぺきな出展を実施するのは難しい」と悩む必要はありません。今年は、サイエンスアゴラ 2018 推進委員会が、各出展内容の特性と他の出展内容との関連性を考慮したプログラム構成を行います（出展に際しては、狙いや提供価値を明確にしてください）。出展者同士が枠組みを超えて緩やかに連携できる、相乗効果を生み出せるシナリオを作り、配置を行います。なお、状況により単独での配置となることもありますのでご了承ください。

**【シナリオに基づくプログラム構成の例】** ※出展内容はすべて架空のものです



**●シナリオごとの効果的なPRを実施**

企画の配置にどのようなシナリオが考えられているかをチラシ等に掲載し、積極的なPRを行う予定です。出展者の力を合わせるとどのような相乗効果が生まれるのか、セッションやブースにどのような関連性が見いだせるのか、企画の面白さを伝える工夫をします。

**●サイエンスアゴラは参加者全員が学べる場に**

サイエンスアゴラは「来場者」が楽しんだり学んだりできる場、との印象が強いかもしれませんが、今年からは、それに加えて、「出展者」にとっても学びの多い場にしたいと考えています。サイエンスアゴラには以下の仕組みがあります。

**応募段階：**応募申請書の作成を通じて、自らの考えを深めるプロセスを盛り込んでいます。不採択となった場合でも、審査委員会からのフィードバックが得られる場合があります。

**採択後の出展準備段階：**日本科学未来館のサイエンスコミュニケーターによる、来場者との円滑なコミュニケーションに関するミニセミナーを無料で受講できます（詳細調整中）。また、今後の活動に役立つ各種手法の情報提供があります。

**出展当日～開催後：**出展者同士の交流が生まれる配置設計を経て、自らの活動に必要なパートナーや協力者など、新たな仲間が見つかるような試みを実施します。また、注目企画やキュレーションを通じて得た知見を今後の活動に生かします。

**●最終日に成果をまとめ、次年度へ引き継ぐ**

会期中に生まれた議論や交流などの成果を広く共有するため、最終日に注目企画を中心に振り返りや成果のまとめを行い、来場者の意見も集めて、次年度以降のサイエンスアゴラにつなげたいと考えています。さらに、会期以外でも継続的に話し合いが続けられる仕組みを構築していく予定です。

### 3. サイエンスアゴラ 2018 テーマとトピック

昨年のサイエンスアゴラ 2017 では「越境する」をテーマとして、学問分野、立場、国、文化、世代の壁を越えて私たち一人一人が心豊かに生きていくために科学技術をどう取り入れていくのか、科学技術には何ができるのかを考えることを目指し、各企画において、専門とする・重視する領域と、越境したい領域の両方を意識して対話を行いました。「越境する」を実践していくことは1年限りで達成できるものではなく、引き続き重要であるとし、サイエンスアゴラ 2018 でも継続して「越境する」をテーマとします。

サイエンスアゴラ 2018 では、対話・協働の深化の手段として、次に設定したトピックに基づき企画公募します。具体的な未来の社会の姿を見据えることで、問題提起にとどまらない、問題解決に向けての対話を促進します。

テーマ 「越境する」	
<p><b>トピック① Society 5.0</b></p> <p><b>キーワード：IoT、AI、ICT</b></p> <hr/> <p>IoT や AI などの発達は、どのような未来社会を創り出そうとしているのでしょうか。新技術を活用した社会の変化や新しい価値観、課題について対話する取り組みを募集します。</p>	<p><b>トピック② 地球</b></p> <p><b>キーワード：地球規模課題、自然環境、気候変動、生物多様性、経済、エネルギー</b></p> <hr/> <p>地球規模の普遍的課題について、科学技術イノベーションが果たす役割は何でしょうか。世界規模の長期的な社会課題について知り、その解決について考え、対話する取り組みを募集します。</p>
<p><b>トピック③ 安全・安心</b></p> <p><b>キーワード：自然災害、健康、人権、地方創生、少子高齢化、セキュリティ</b></p> <hr/> <p>人々が安心を感じられる社会はどのようにしたら築いていけるのでしょうか。時代の変化を捉えた身近な喫緊の社会課題について知り、その解決について考え、対話する取り組みを募集します。</p>	<p><b>トピック④ 共に学びつながら</b></p> <p><b>キーワード：関心喚起、教育、次世代、学際</b></p> <hr/> <p>日本や世界の課題に関心を持ち、皆で今後の社会をつくるには、学び合い、行動を起こすことが大切です。対話を通して、人々が活躍する未来とともに切り拓いていく斬新な取り組みを募集します。</p>

### 4. 募集する出展企画について

- サイエンスアゴラ 2018 のテーマ・トピックに関連する出展を募集します
- セッション出展（会議室/ステージ/ミニステージ/共創テーブル）と、ブース出展があります

## 5. 前年度の開催状況と参加者の声

サイエンスアゴラ 2017 では「越境する」をテーマに掲げ、科学者や市民が未来の科学や技術のあり方、社会課題について語り合いました。2006 年のノーベル平和賞を受賞したムハマド・ユヌス氏らの基調講演のほか、専門的な議論を行うセッション、対話型ワークショップ、体験型ブース展示など、およそ 150 企画が実施され、参加者は総計で 5,000 人を超えました。

サイエンスアゴラ 2017 参加者数計			5,095 名
内 訳	来場者	一般来場者	3,256 名
		招待者／報道等	72 名
	出展者		1,767 名

※ 開催状況参考：「サイエンスアゴラ 2017」が閉幕（Science Portal - ニュース速報 より）

[https://scienceportal.jst.go.jp/news/newsflash\\_review/newsflash/2017/11/20171127\\_01.html](https://scienceportal.jst.go.jp/news/newsflash_review/newsflash/2017/11/20171127_01.html)

サイエンスアゴラは過去 12 回開催。例年の来場者アンケートでは、9 割以上の方から「来て良かった」「また来たい」など、高いご満足をいただいています。なお、2017 年の来場者の割合は、家族連れ等の一般来場者と、大学等の研究機関（研究者）や企業の方で半分ずつとなっています。

過去の出展者からは、以下のような感想が寄せられています。

これまでは業界内での議論に終始していた感があったが、サイエンスアゴラでは、業界外の皆さんとのトークセッションを行うことができた。参加者からは話しやすかったと肯定的な感想もいただき、有意義だった

来場者からのコメントは一般目線の生の声、出展者からのコメントは専門家の正直な声と捉え、今後の研究開発に活かしたい

サイエンスアゴラを契機に講演会の依頼がくるなど、交流の広がりがあった

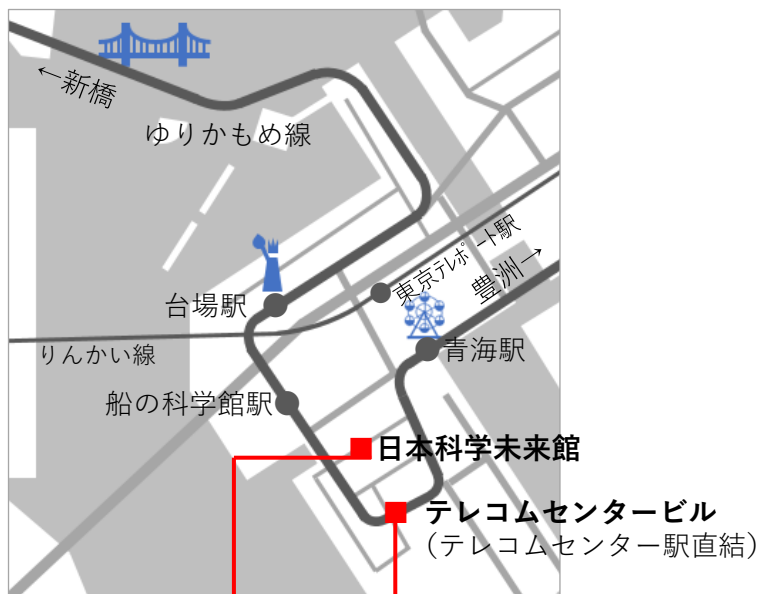
企業から個人まで全国の普段知り合えない人たちと「科学」という共通の話題で話しができた  
様々な立場の方々との交流で視野を広げられた。他団体の取り組みに刺激を受けると同時に、自分たちの取り組みについても再発見する機会となった

## 6. サイエンスアゴラ2018 開催概要

会期：2018年11月9日（金）～11月11日（日）／10:00～16:00（初日は13:00～17:00）（予定）

会場：テレコムセンタービル（メイン会場）、日本科学未来館（セレモニー会場）

（お台場・テレコムセンター駅（ゆりかもめ）周辺地域）



### ■主な日程（予定）

日時		会場	
		セレモニー会場 「日本科学未来館」 	メイン会場 「テレコムセンタービル」 
11月9日 (金)	13:00～16:00	開幕セレモニー・基調講演	(出展者搬入・設営)
	16:00～17:00		
11月10日 (土)	10:00～13:00	連携企画実施	ブース・セッション
	13:00～16:00		
11月11日 (日)	10:00～13:00	連携企画実施	ブース・セッション
	13:00～16:00		

**公募**



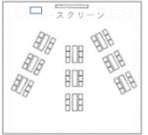
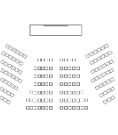

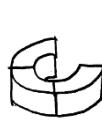
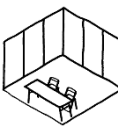


## 7. 出展の形式（本年度より有料）

サイエンスアゴラ 2018 は、下記 A、B、C の 3 形式で企画を募集します。

<b>A. セッション出展【会議室・ステージ】（出展料金：2 万円／1 枠）</b>
会議室やテレコムアリーナのステージ・ミニステージで行う、講演やパネルディスカッション、ワークショップなど（仕様詳細は 16～19 ページを参照、規模は下記の表を参照）
<b>B. セッション出展【共創テーブル】（出展料金：1 万円／1 枠）</b>
テレコムアリーナに設置される「共創テーブル」を使った、20 人程度を対象とした対話イベント向き（詳細は 22 ページを参照）
<b>C. ブース出展（出展料金：2 万円／1 ブース）</b>
ブースで行う各種展示を想定。幅 3m×奥行き 3m×高さ 2m のスペース内を設営（仕様詳細は 17～19 ページを参照）。※11 月 10 日（土）、11 日（日）で連続出展できる出展者に限りませ

セッションのタイムスケジュール、ブースの配置は事務局が決定するため、場所や時間を選ぶことはできません。セッションは 1 枠 150 分（準備・撤収含む）での実施が基本となり、最大 2 枠までの連続申し込みができます（審査により 1 枠になることもあります）。ブースは最大 3 ブースまでの申し込みができます（審査により 1 ブースになることもあります）。

エリア	会議室エリア（8 階）			テレコムアリーナ（1 階、3～5 階）			
出展タイプ	A.セッション出展			B.セッション出展		C.ブース出展 (1ブースの時)	
	シアター形式 	スクール形式 	島型形式 	ステージ 	ミニステージ 	共創テーブル 	
1回人数	150～200 人	50～100 人	20～50 人	～150 人	20～30 人	～20 人	～20 人
想定時間	準備・撤収含め 1 枠 150 分（※実施は 90 分を想定）						—
パネル設置	△	△	△	△	△	△	◎
スライド投影	◎	◎	◎	◎	△	×	△
講演・セミナー	◎	◎	×	◎	◎	△	△
ワークショップ	×	×	◎	◎	△	◎	◎
工作・実験	×	△	◎	△	△	△	△
実演	×	△	◎	◎	◎	◎	△

※凡例 ◎：実施に適し、必要最低限の備品を事務局で用意できる

△：出展者が必要な備品を用意したり参加者人数に注意したりの工夫をすれば実施できる

×：想定していない、または向かない

## 8. 応募の条件

サイエンスアゴラの基本的な考え方に賛同し、以下の内容すべてを了承される、企業、団体、グループ（組織名で出展する場合は、組織の同意を得た上でご応募ください）。

- 採択された場合、出展形式に応じた出展料金を支払う
- サイエンスアゴラ 2018 会期中に、2 名以上で企画を遂行できる
- ご自身の企画について、事前告知・広報による集客ができる
- 主催者による動画、静止画の撮影を許可する（報告書等掲載や報道で利用される場合あり）
- 火気や危険物を用いない（JST の指示に応じる）、実験等で参加者への安全配慮を実施できる

## 9. 出展料金の詳細

- 設営や設備使用にかかる費用の一部負担分としてお支払いいただきます（振込先等は採択時に通知。公共機関・大学等で伝票払いが必要な場合も対応可能です）
- ブース、セッションの別を問わず、1 企画ごとに 20,000 円（税込）がかかります。ただし、共創テーブルは 1 企画 10,000 円（税込）です
- ブース追加ごと、時間枠追加ごとに 20,000 円（税込）が加算されます。ただし、共創テーブルは 10,000 円（税込）の加算となります
- 出展料金にはタイプ別の基本設備が含まれます（詳細は 17～21 ページを参照）
- ※ 基本設備以外に必要な機器、什器等はご自身でご用意ください。ご希望の方には、事前の申し込みにより、有料で設備等の手配が可能です（0.5kW を超える電気の使用も有料となります）
- ※ 材料費、搬送費、会場までの交通費、宿泊費など一切の費用は出展者でご負担ください

## 10. 選考方法と審査の観点

採択予定数は、**合計 100～120 企画程度**です（会場設計により増減の可能性あり）。応募申請書をもとに、下記「審査の観点」に基づき、プログラム審査委員による審査を経て採択を決定します。採択通知はメールで行い、審査委員会からのコメントがある場合は併せてお知らせします。

### 【審査の観点】

- ① 出展を通して、参加者に提供できるものが考えられているか（参加者に新しい観点を与えられるか）
- ② 出展を通して、出展者自身が得たいものが考えられているか
- ③ 参加者に投げかけたい問いが考えられているか（参加者と一緒に考えたいことは何か）
- ④ 時間・空間の配分や配付資料等が適切か（関心度が異なる人への配慮も考えられているか）

※「17. 審査基準と応募申請書の関係について」もご確認ください（21 ページ～）

審査の観点が充実している企画には注目企画としての実施をお願いする場合があります。注目企画に選ばされると、サイエンスアゴラのウェブサイトやチラシ等で優先的な紹介が行われるなどの特典があります。

## 1 1. 運営事務局について

JST にご提出いただく応募情報等はすべて 6 月上旬に設置予定の運営事務局に引き継ぎ、以後は運営事務局から連絡を行いますので、ご了承ください。運営事務局の設置前は [agora@jst.go.jp](mailto:agora@jst.go.jp) にて問い合わせを受け付け、必要に応じ Q&A をサイエンスアゴラのウェブサイトで開催します。

<http://www.jst.go.jp/csc/scienceagora/>

## 1 2. 出展者のおもな年間スケジュール (★は出展者が独自に行うべき作業です)

[応募前]

6月1日(金)～7月1日(日)	募集期間	★出展内容の方向性を検討……………参照：21 ページ
		★登壇者、協力者等への打診
		★広報計画の策定……………参照：25 ページ
		★応募申請書の提出……………参照：13 ページ～

[採択後 (予定)] ※ 採択後のスケジュールは、出展者の皆様に改めてお知らせします

8月上旬	審査結果通知	★通知の確認
		★登壇者、協力者等への連絡
8月～	公開情報の登録期間	★公開情報登録、出展同意書の登録、備品等の申請
8月31日(金)	出展料金の支払い〆切	★指定口座への振り込み
9月上旬	会場見学・出展者説明会	★参加
	出展者マニュアル掲載	★マニュアルのダウンロードと内容の確認
9月中旬	ウェブサイトで全プログラム公開 (プレスリリース後)	★広報計画の実施 (必要に応じ独自印刷物の手配)
		★手続き等の確認
10月	JST による公式チラシ・ポスター完成	★台本の作成、協力者との情報共有
		★必要に応じ荷物の発送準備

[開催時]

11月9日(金)	開幕セレモニー・基調講演 (日本科学未来館)	★搬入および参加
11月10日(土)	メイン会場オープン (テレコムセンター会場)	★実施
11月11日(日)	閉幕セッション、サイエンスアゴラ 2018 まとめ	★実施および搬出

## 1 3. 応募の流れ

サイエンスアゴラ 2018 に出展するための応募申請は、WEB 上の「オンライン応募フォーム」で受け付けます。サイエンスアゴラ公式ウェブサイトからアクセスし、注意事項をご確認のうえご応募ください。

<http://www.jst.go.jp/csc/scienceagora/>

### 1) 応募のためのログイン ID の取得

応募に際しては、ログイン ID を取得し、パスワードを登録する必要があります。今後の事務手続きで連絡窓口になる方がご登録ください（採択通知ほか各種連絡は、この ID のメールアドレスにお送りします）。2015 年～2017 年にサイエンスアゴラへの出展にご応募いただいたことのある方は、同じ ID を引き続きご利用いただけます。

✓ 1 企画につき、ひとつの ID での応募をお願いします

例) ブースとセッションを同時に申し込む →2 つの ID が必要

例) 3 カ所で異なった企画を実施したい →3 つの ID が必要

### 2) 応募

「マイページ」にアクセスし、公開資料より必要書類（応募申請書および記入説明書）をダウンロードしてご応募ください。

### 3) 応募の確定

必要事項を記入したらアップロードします。最後に「送信」ボタンを押して応募を確定してください。応募確定後も、応募受付締め切り時日までは、入力した情報の確認・修正ができますが、締切日以降は、修正も閲覧もできません。送信内容をご自身で管理してください。

**募集期間**

**2018年6月1日(金)～7月1日(日)23:59**※日本標準時間 **まで**

## 14. オンライン応募フォームについて

- ✓ ここから登録する内容は、会場設計に用いる重要な情報なので、具体的にご記入ください
- ✓ 登録内容記入中、途中でページを閉じるとデータは保存されないのご注意ください
- ✓ 「マイページ」に掲載の公開資料より、**専用様式【2018】応募申請書 (Excel) と【2018】記入説明書 (PDF) をダウンロードし、申請書を作成してください**

サイエンスアゴラ 2018 応募申請書

事務用記入欄  
 出展ID: **事務用会場参加権**

※は、必須項目です

1 出展タイトル ※ (全角25文字以内)  
 2 出展者名 ※ (全角25文字以内)  
 3 上記団体の組織区分 ※ 選択してください  
 4 上記団体のホームページURL ※  
 5 責任者情報 ※ 所属: 役職: 氏名:  
 6 これまでのサイエンスアゴラへの出展回数 ※ 選択してください

7-1 形式 ※ 形式: 選択してください 規模: 選択してください  
 7-2 上記の「規模」で②または③を必ず選択してください

8 出展の内容 ※ (全角300文字程度)  
 9 主な出展者情報 ※  
 10 トピック ※ 選択してください  
 11 出展の主な対象 ※ 特に重視するコミュニケーションの対象を選択してください  
 12 出展を通して、参加者に提供できるもの (全角200文字程度) ※  
 13 出展を通して、出展者自身が得たいもの (全角200文字程度) ※  
 14 参加者に届けたい思い (全角200文字程度) ※

15 イメージ図  
 16 実現性  
 17 出展当日のタイムテーブル  
 18 出展当日の人員構成

19-1 該当事項 (複数選択可)  
 ①大量の水(1以上)の使用  ②大量の電気 (0.5KWを超える) の使用  ③生体動物の持ち込み  
 ④飲食物の提供  ⑤物理的実験  ⑥音の発生  ⑦光の発生  ⑧においの発生  ⑨数値的測定  
 ⑩造形、アルコール類の使用  ⑪ガス類の使用  ⑫薬品の使用  ⑬液体窒素の使用  ⑭その他

19-2 上記「該当事項」を選択した場合、具体的な内容を記入

20 特記すべき事項

【2018】応募申請書 (Excel) の記入に際しては 【2018】記入説明書 (PDF) をお読みください

サイエンスアゴラ 2018 記入説明書

1. 出展者情報の入力  
 2. 出展内容の入力  
 3. 出展の主な対象の入力  
 4. 出展を通して提供できるもの/得たいもの/届けたい思いの入力

5. 出展当日のタイムテーブルの入力  
 6. 出展当日の人員構成の入力

7. 出展当日の会場設計の入力  
 8. 出展当日の注意事項の入力

9. 出展当日の注意事項の入力  
 10. 出展当日の注意事項の入力

11. 出展当日の注意事項の入力  
 12. 出展当日の注意事項の入力

13. 出展当日の注意事項の入力  
 14. 出展当日の注意事項の入力

15. 出展当日の注意事項の入力  
 16. 出展当日の注意事項の入力

17. 出展当日の注意事項の入力  
 18. 出展当日の注意事項の入力

19. 出展当日の注意事項の入力  
 20. 出展当日の注意事項の入力

- ✓ **マイページは 60 分でタイムアウト**になるため、**【2018】応募申請書 (Excel) を作成した後に、応募フォームの入力を開始してください**

### [1] 出展者について

NO	項目	内容	タイプ	選択肢
1	出展者の名称	出展者の名称を記入ください (全角25字以内)。この名称がプログラムなどへ掲載されます。字数に超過がある場合、掲載時に削除される場合があります。	テキスト	
2	企画タイトル	企画のタイトルを記入ください (全角25字以内)。この名称がプログラム等へ掲載されます。字数に超過がある場合、掲載時に削除される場合があります。	テキスト	

3	出展者の属性	出展者の属性を選択肢から1つ選んでください。 該当がない場合は「その他」を選択し、具体的に記入してください。	ラジオボタン	<input type="radio"/> 研究者・大学・研究機関・学協会など <input type="radio"/> 政策決定者・政府・地方公共団体・行政機関など <input type="radio"/> 科学館・博物館など <input type="radio"/> 企業・営利団体など <input type="radio"/> 教育関係者・学校・教育委員会など <input type="radio"/> メディア関係者など <input type="radio"/> NPO・ボランティア(個人・団体) など <input type="radio"/> その他 (         )
4	責任者氏名	企画提供の責任者の所属、役職、氏名を記入ください。	テキスト	
5	実績	過去にサイエンスアゴラでの企画提供の実績があれば、その年を選んでください。	チェックボックス	<input type="checkbox"/> 2006 <input type="checkbox"/> 2007 <input type="checkbox"/> 2008 <input type="checkbox"/> 2009 <input type="checkbox"/> 2010 <input type="checkbox"/> 2011 <input type="checkbox"/> 2012 <input type="checkbox"/> 2013 <input type="checkbox"/> 2014 <input type="checkbox"/> 2015 <input type="checkbox"/> 2016 <input type="checkbox"/> 2017

## [2] 企画の内容について

※一部上記1-5の項目と同様の記載を含みます。

NO	項目	内容	タイプ	選択肢
6	応募申請書	指定の様式 (Excel) をダウンロードし、応募申請書を作成のうえ、添付にて提出ください。	添付	

※ **17. 審査基準と応募申請書の関係について (21 ページ) もご参照ください**

## [3] 特別事項

NO	項目	内容	タイプ	選択肢
7	通訳設備配置について	同時通訳の設備の利用 ※ 適切な部屋に配置するための質問であり、通訳の手配を申し込むものではありません。通訳者、機材の手配は出展者自身でお願いしております。	チェックボックス	<input type="checkbox"/> 利用する
8	英語対応	英語対応が可能ですか。 ※ 国内外からの日本語を母語としない参加者が増えています。そのため、英語での企画内容の説明やコミュニケーション、印刷物の英語版の作成など、何らかの工夫を推奨します。	チェックボックス	<input type="checkbox"/> 可能

## [4] 個人情報の取り扱いについて

NO	項目	内容	タイプ	選択肢
9	JST からの ご案内	応募にあたり登録いただいた連絡先に、JST 事業の 各種ご案内などをお送りしてもよろしいですか。	ラジオ ボタン	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
10	調査研究 目的の利用	応募にあたり登録いただいた属性等を、JST 科学コ ミュニケーション事業の調査研究などの目的に利 用してもよろしいですか。	ラジオ ボタン	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ

## [5] 確認事項

11	確認	募集要項に記載の「応募の条件」を確認しましたか。	チェック ボックス	<input type="checkbox"/> はい
----	----	--------------------------	--------------	-----------------------------

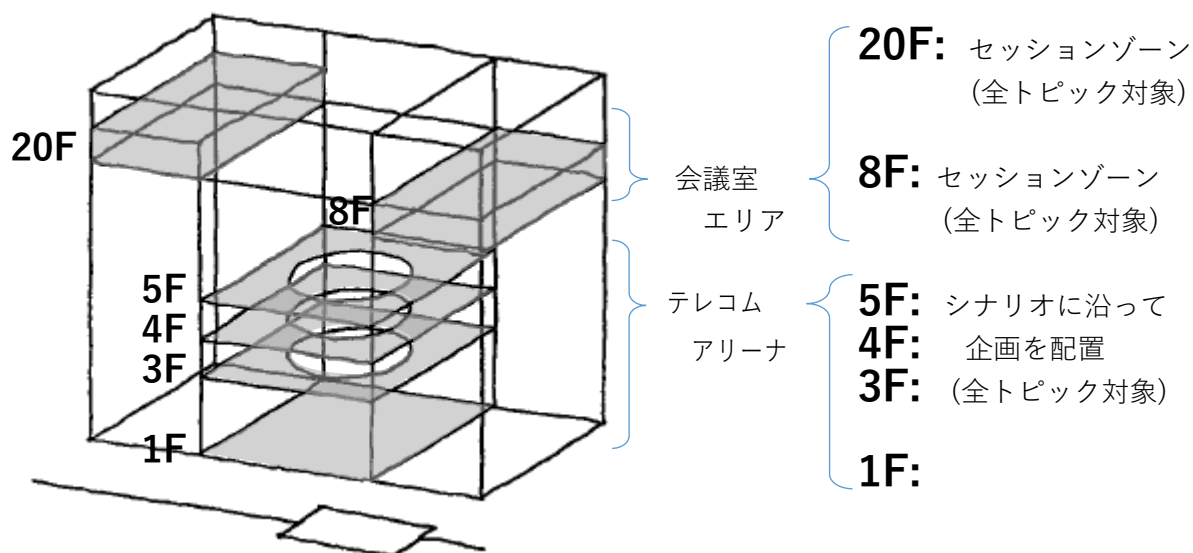
## 15. 企画タイトル・出展者名表記についての統一ルール

サイエンスアゴラでは、表記について以下のルールを設けています。ルールに沿っていないものは事務局が適宜修正するのでご了承ください。

- ルール (1)** 法人格（国立大学法人、株式会社、特定非営利活動法人など）はすべて省略
- ルール (2)** 法人名・機関名と部署名の間には半角スペースを挿入  
部署名が複数続く場合は見やすさの観点から、適宜、半角スペースを挿入
- ルール (3)** カタカナ・英数字はすべて半角で記入（スペースも半角）  
記号（丸括弧（ ） かぎ括弧「 」 中点・句点。読点、感嘆符！ 疑問符？ チルダ～ など）  
はすべて全角で記入
- ルール (4)** 企画タイトルにサブタイトルがある場合の表記は以下の通りとする  
主タイトル 半角スペース チルダ サブタイトル チルダ  
例) 光の色彩 ～視覚で楽しむ炎色反応～
- ルール (5) その他**
- ① タイトル全体がかぎ括弧「」などで囲まれている場合は、とる
  - ② 一重括弧なしに二重括弧が使われている場合は、一重括弧に変更
  - ③ 複数の出展者が同列で列挙する場合は、読点で区切る
  - ④ 感嘆符、疑問符の後ろは、原則、半角スペースを空ける

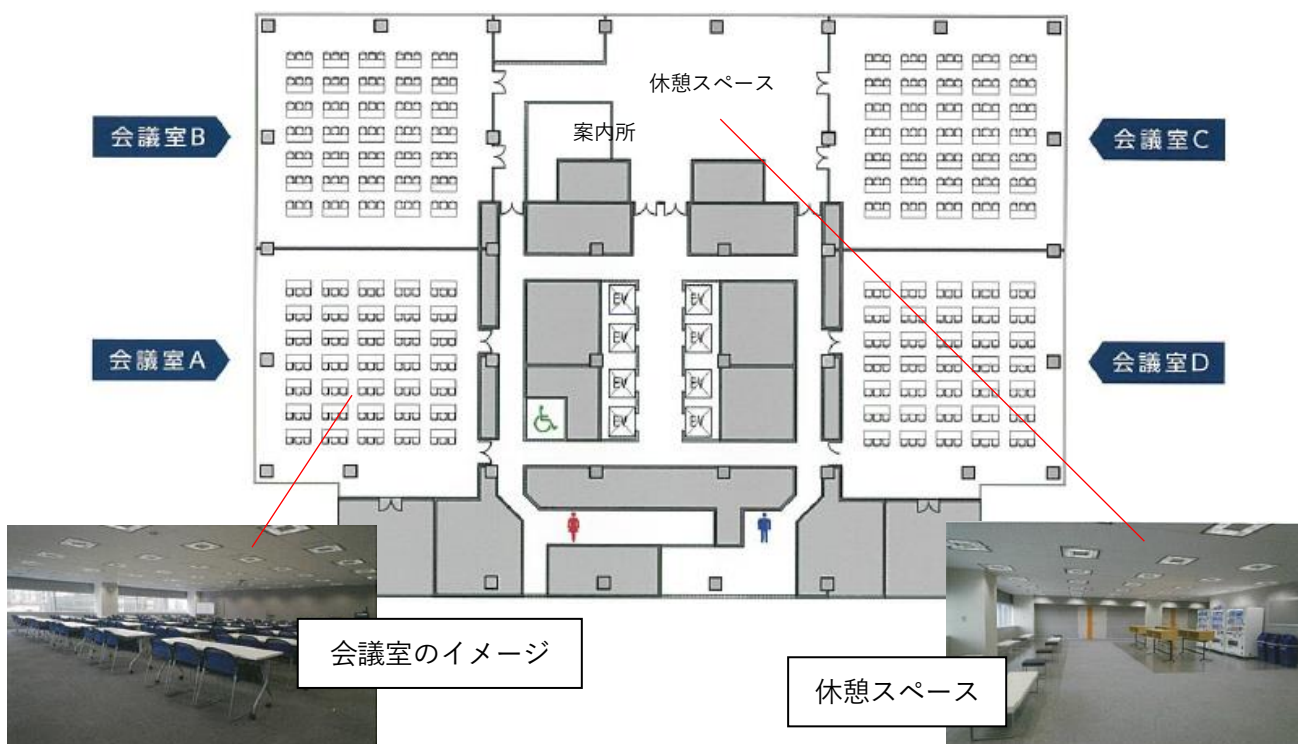
## 16. サイエンスアゴラ 2018 メイン会場（テレコムセンター）構成について

サイエンスアゴラ 2018 のメイン会場は、テレコムセンタービルのテレコムアリーナ（1階、3階、4階、5階）と、会議室エリア（8階）を予定しています（なお、20階はJSTの企画で使用し、公募企画は配置しません）。トピックごとにフロアを構成します。



### 16-1. 会議室エリア

会議室エリアはセッション形式の企画で構成します。会議室4室の床面積は全て同じです（262㎡）。





会議室エリアの基本仕様は3パターンです。

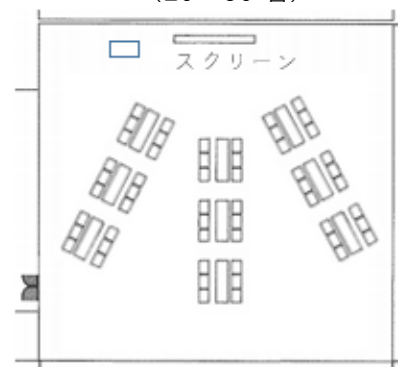
1) シアター形式  
(150~200名)



2) スクール形式  
(50~100名)



3) 島形形式  
(20~50名)



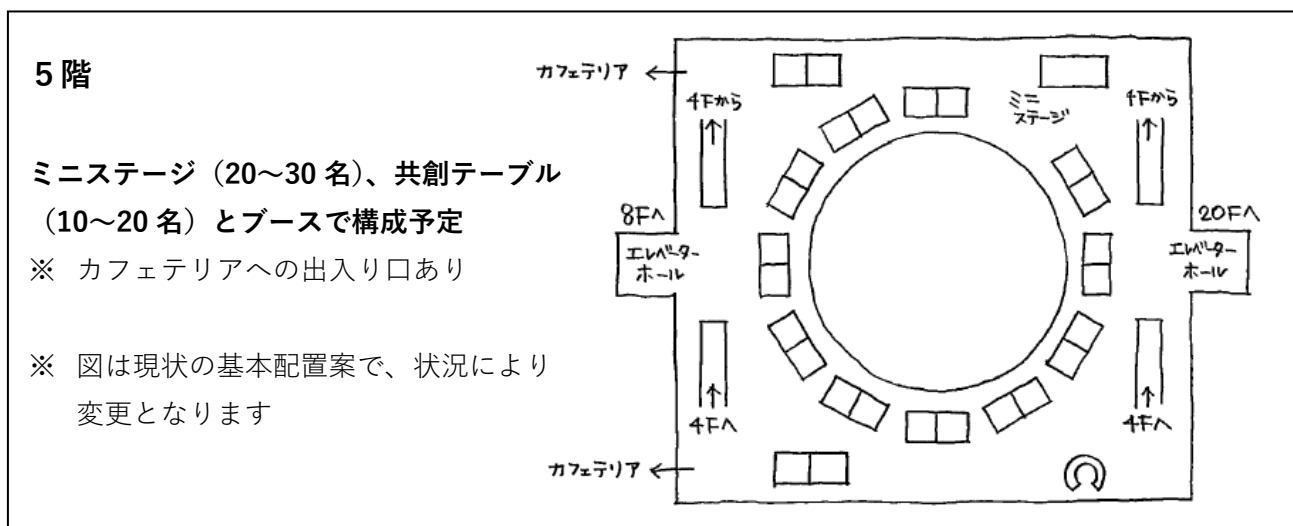
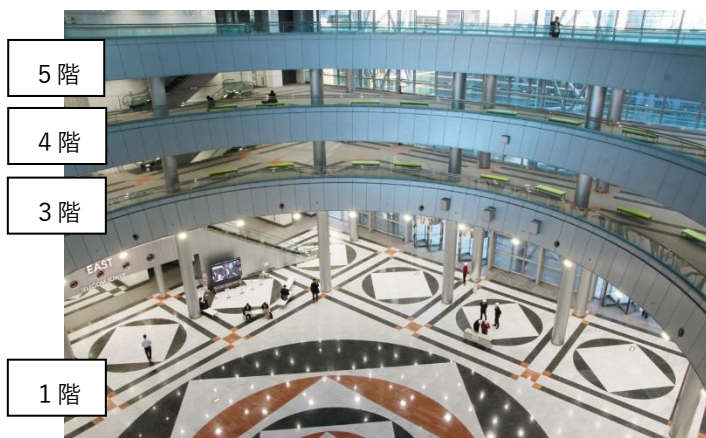
**基本設備**：プロジェクター、スクリーン（120インチ）、マイク、音響、演台（机）、コンセント

※ 壁面にパネル等の貼り付けなどはできません。パネルやホワイトボードの設置が必要な場合は、出展者が持ち込むか、有料備品のお申し込みが必要です。

※ 机や椅子の配置・原状復帰は出展者で行います。準備・撤収の時間は厳守してください。

## 16-2. テレコムアリーナ

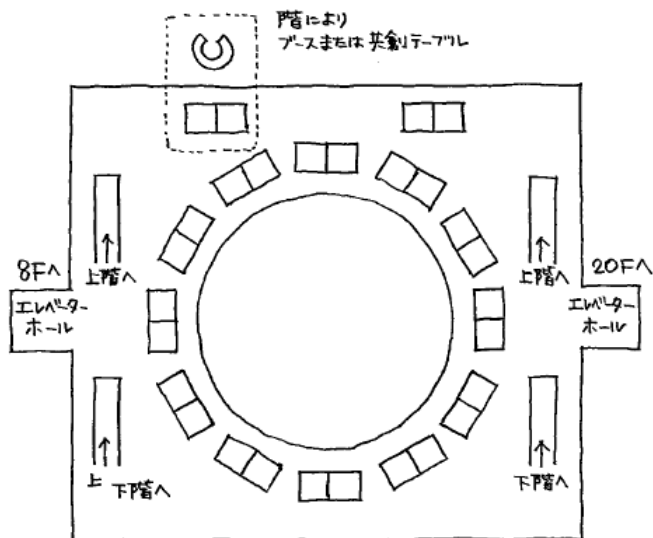
テレコムアリーナは、ブース、ステージ、ミニステージ、共創テーブルの企画で構成します。吹き抜けのため、落下物がないようご注意ください。手すりに物をかけることはできません。また、手すりや、ブースの外側の壁にポスター等を掲示することはできません。



### 4階、3階

ミニステージ (20~30名)、共創テーブル (10~20名) とブースで構成予定

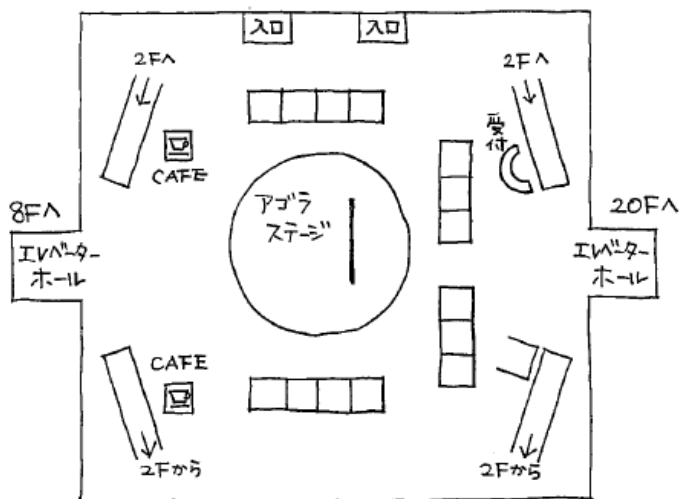
※ 図は公募時の基本配置案で、状況により変更となります



### 1階

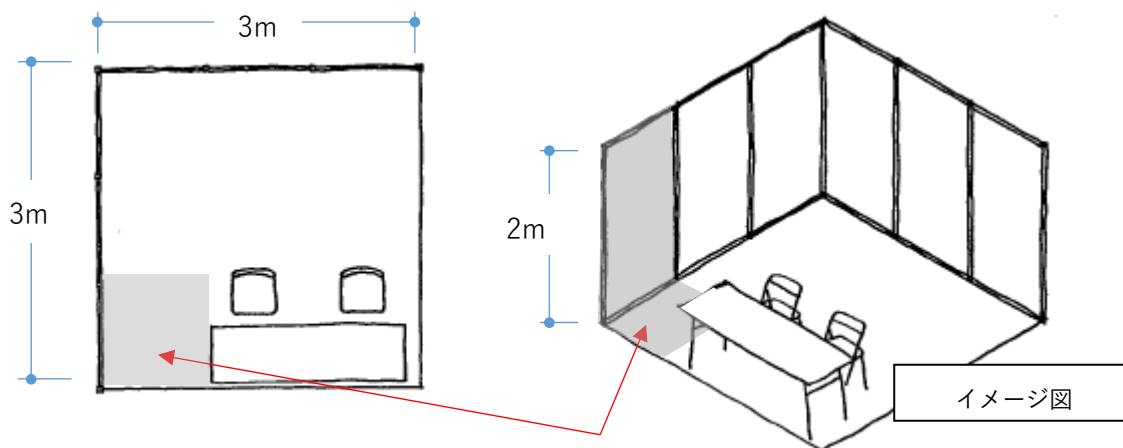
注目企画のブースを配置  
ステージ (150名) とブースで構成予定

※ 図は公募時の基本配置案で、状況により変更となります



### ブース形式基本仕様

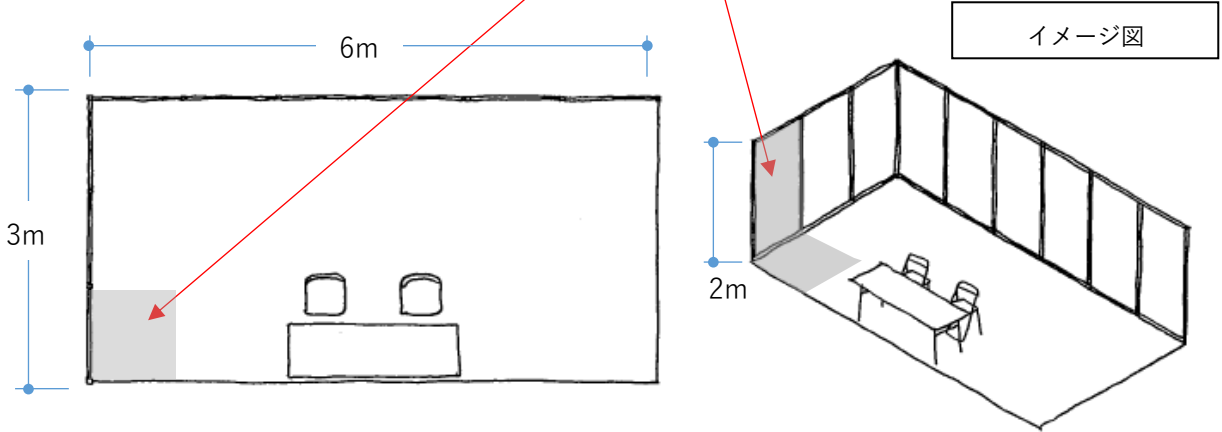
●1小間出展 (幅3m、奥行き3m、高さ2m) の場合



奥側から3スパン目 (着色部分) はサインスペース (出展者名などを記載) となるため、サイン前1mも含め物を置くことはできません。

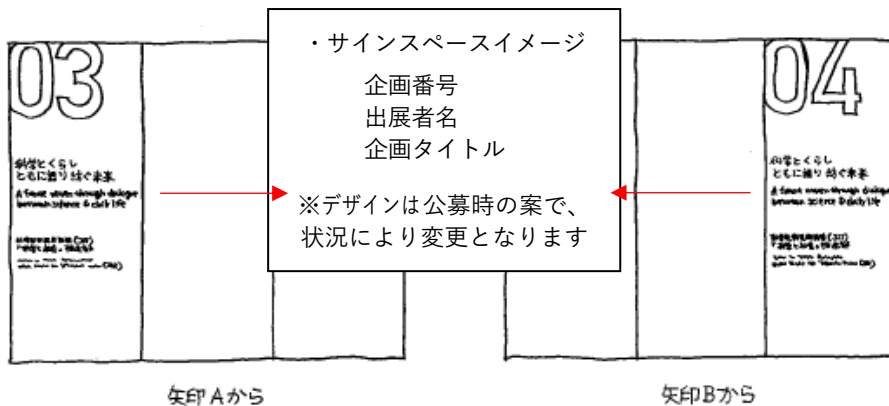
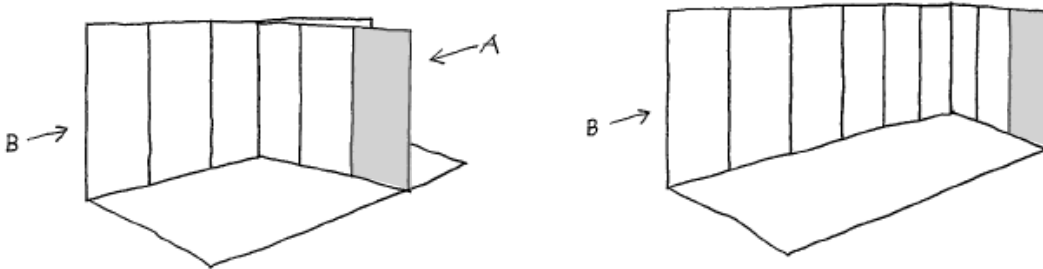
奥側から3スパン目(着色部分)はサインスペース(出展者名などを記載)となるため、サイン前1mも含め物を置くことはできません。

●2小間出展(幅6m、奥行き3m)の場合



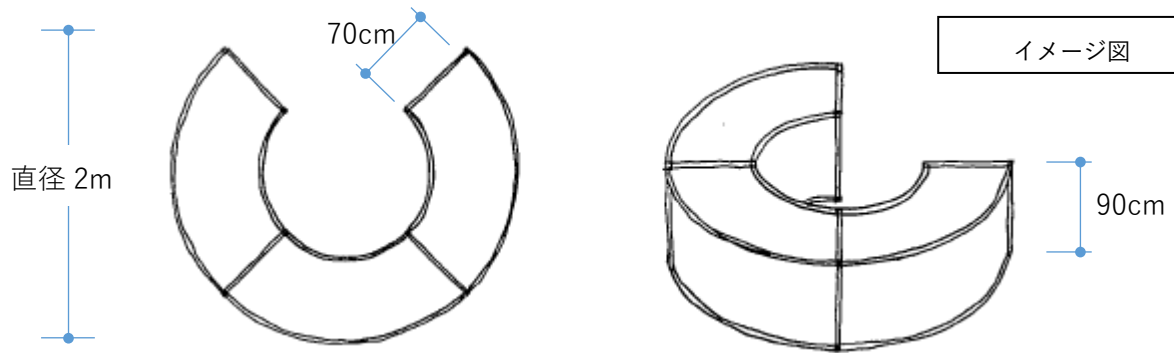
- |      |   |
|------|---|
| 小間出展 | 間仕切り壁面(システムパネル W990×H2100 で構成)  |
| 基本設備 | ※壁面への画鋲や釘の使用、現状復帰不可の接着剤等での貼り付けは禁止<br>※パネルの設置に必要なチェーン等をご持参ください(運営が用意?) |
|      | テーブル(W1800×D600×H700) 1台  |
|      | イス 2脚   |
|      | コンセント(2口・0.5kw まで ※お申し込みが必要です)  |
|      | サイン   |
|      | ※複数小間の出展の場合、基本設備の個数は倍になります  |

ブース形式 サインスペースについて



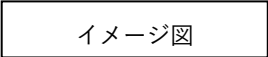
イメージ図

## 共創テーブル基本仕様

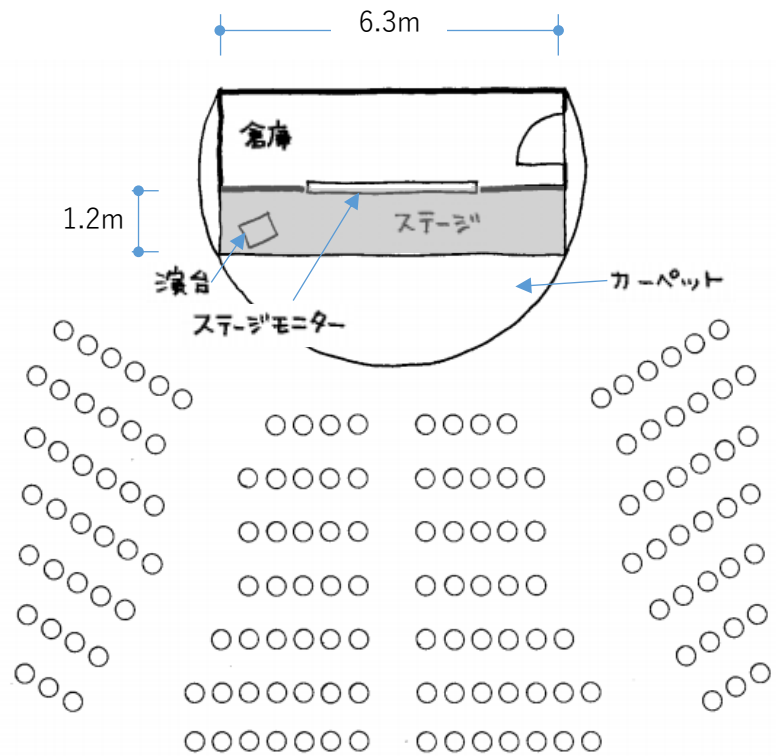


基本設備	共創テーブル コンセント (2口・0.5kw まで ※お申し込みは不要です) ※イスは基本設備に含まれないので別途お申し込みください
------	--

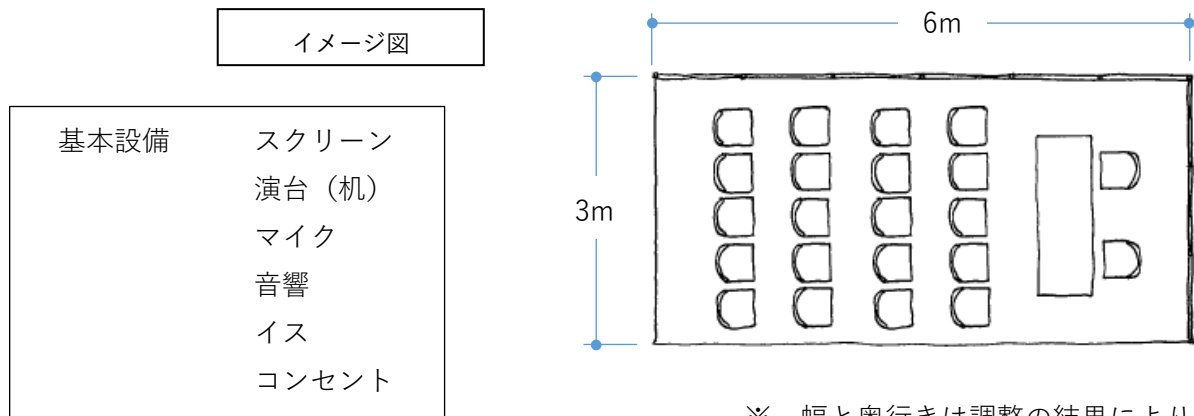
## ステージ基本仕様



基本設備	スクリーン 演台 (机) マイク 音響 イス コンセント
------	---



## ミニステージ基本仕様



### 1 7. 審査基準と応募申請書の関係について

応募申請書作成にあたっては「応募申請書」の記入説明書をお読みください。審査のポイントとなる企画内容を検討のうえ、サイエンスアゴラの主旨に沿っていることがわかるように整理してご記入ください。

#### 1 7 - 1. 応募申請書項番 12~14 で考えたいこと

##### ポイント 1 誰が主要な対象なのか

具体的に誰が主要な対象なのか、対象を絞り、あなたの企画の価値を適切に伝えられるように、対話のシナリオを作成してください。ただし、主要な対象以外への説明を怠ることがないようにご配慮ください。

##### ポイント 2 難しい言葉を使っていないか

普段のコミュニティとは違う人との対話を成立させる最低限の配慮として、専門用語に解説をつけたり、簡単な背景を紹介したり、配布資料を作成したりするなど、来場者が感想や意見を述べやすい環境を作ってください。

##### ポイント 3 異なる意見を排除していないか

多様な意見に耳を傾け、基本的な合意ができるポイントはどこか、異なる意見を把握したうえで、より良い未来づくりに向けた建設的な議論をしてください。

##### ポイント 4 出展の狙いは明確か

サイエンスアゴラへの出展の結果、どのような成果を得たいですか？ 参加者がどのようになれば成功、という具体的なイメージを描くなど、ゴールを明確化してください。

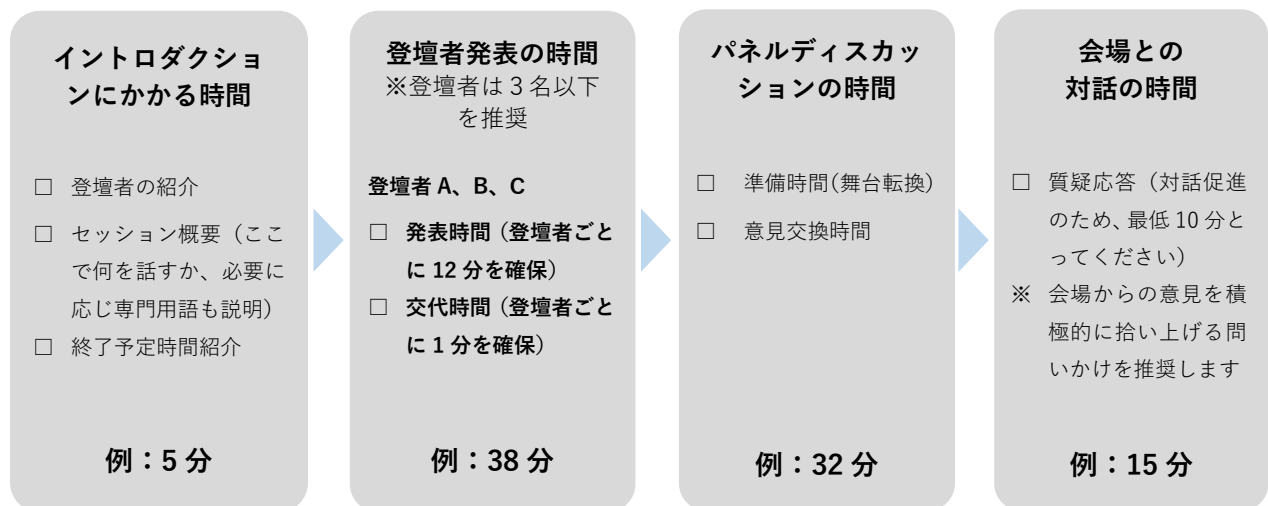
## 17-2. 応募申請書項番 15~18 で考えたいこと

セッションでは、情報を詰め込み過ぎるとわかりにくくなります。会議室などでは考える時間を設けるなど、対話を進めるための仕組み作りが十分かを、多様な来場者を想像しながら検討しましょう。

### 会議室・ステージ・ミニステージの場合

来場者アンケートでよくある意見は「登壇者が多すぎて、一人一人の話す時間が短く物足りなかった」「専門家が言い放して結論がわからなかった」「質問したかったが、時間切れでできなかった」というものです。90分のセッションなら、**登壇者は3名で設計されることを強くおすすめします**。登壇者が多すぎて十分な意見の交換が行えないと判断された場合、時間・空間の配分が適切か、という点で評価が低くなります。下記の時間配分の例を参考に、セッションの流れを考えてください。

#### ●セッションの時間配分の例



※セッションは1枠90分での実施、準備と撤収は30分ずつ、合計150分です。終了時間を厳守してください

#### ●イントロダクションのポイント

サイエンスアゴラは幅広い参加者で構成されます。「専門知識はないがトピックに興味があるので話を聞いてみたい」という来場者も訪れます。セッション冒頭では、この企画ではトピックに関連するどのような内容を話すのか、などを説明できると良いでしょう。また、あらかじめ専門用語のリストを作って入口に掲示したり、資料としてお渡ししたりする、といった取り組みが有効です。また、セッションでの時間割も紹介しておくこと、全体像が分かりやすくなり、セッションの最後まで話を聞いてもらえる率が高くなります。

#### ●登壇者発表でのポイント

登壇者の発表時間を10分以下にすると、専門知識の量が多くない参加者に内容を理解してもらうことが難しくなる傾向があります。登壇者の時間は最低でも12~15分程度をとるようにしてください

い。また、登壇者には「来場者には初心者もいる」ことを伝えて、丁寧な説明を心がけるよう促してください。見落としがちなのが、登壇者の交代時間です。PCの交換等に時間がかかることがありますので、余裕をもった時間配分としてください。

### ●パネルディスカッションでのポイント

同じ意見を持つ方ばかりで登壇者を構成するのは好ましくありません。世の中の様々な声を取りあげてこそ、サイエンスアゴラでセッションを実施する意味があります。異なる意見の人も含めて対話ができる工夫をお願いします。

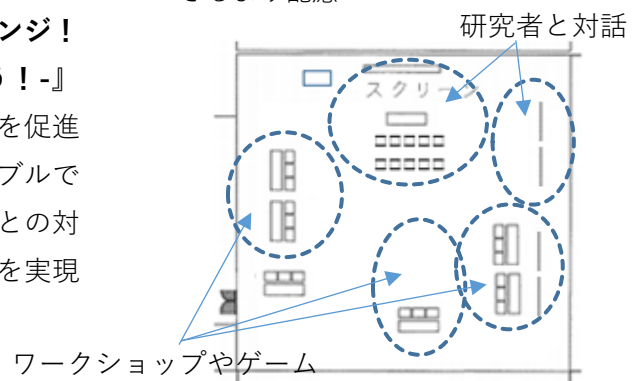
### ●会場との対話におけるポイント

質疑応答の際に「質問はありませんか」と聞くだけでなく「この技術を広めるためにはどうしたらいいですか」など、会場からの意見を積極的に拾い上げる問いかけを行ってみてください。

### ●会議室のレイアウトについて

会議室のレイアウトは自由にアレンジできます。やりたい企画に合ったレイアウトを考えてみましょう。2017年にサイエンスアゴラ賞を受賞した『親子でチャレンジ！-17の世界目標を通じて地域課題をクリアしよう！-』（高専－長岡技大連携グローバルPJ）では、対話を促進するため、右図のような会場設計を行い、各テーブルでの異なるゲーム、ポスターセッションでの研究者との対話など、会議室全体を使ったコミュニケーションを実現しました。

各ゾーンのアクティビティに変化をつけて、興味に応じて参加できるように配慮



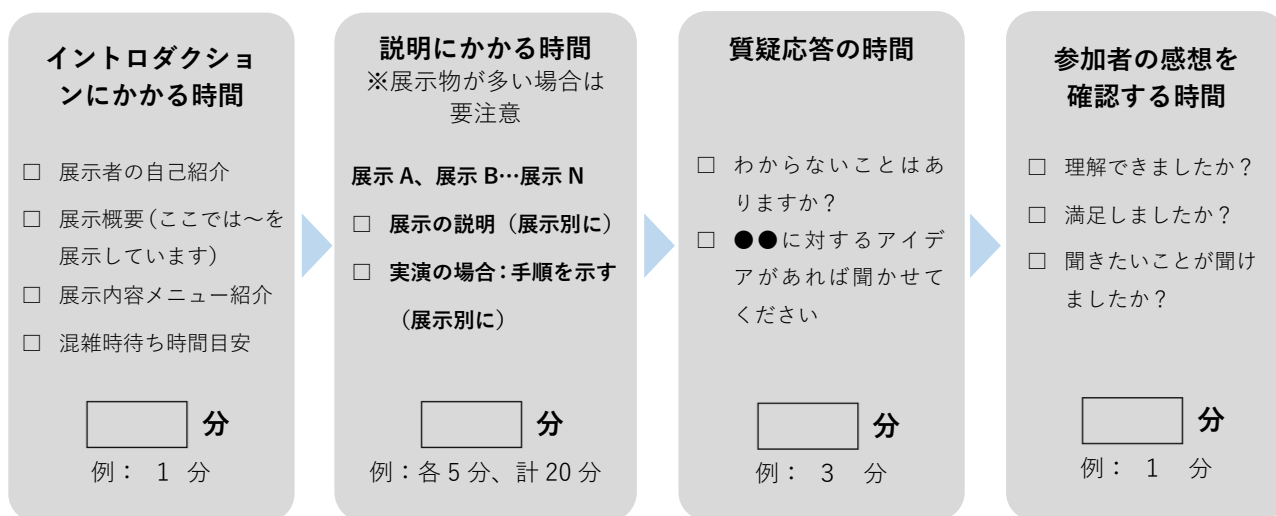
## 共創テーブルの場合

来場者に実演等を間近で見てもらいたい場合、少人数で手を動かすワークショップをしたい場合は、共創テーブルでのセッションは有効です。来場者アンケートでは「距離感が近く、質問しやすかった」という好意的な意見が見られました。ブースが並ぶエリアで、賑わいのあるセッションを実施したい方にお勧めします。時間配分、イントロダクション、対話のポイントは、会議室等と同じです。

## ブースの場合

2016年、2017年に産業技術総合研究所と共同で実施した「みえちゃう！ タッチラリー」参加ブースの分析結果からは、来場者の滞在時間の中央値は2時間、回った企画数は6～7企画程度と推察されています（セッションについてはタッチラリー参加企画数が極端に少ないため分析できていません）。平均的な来場者像を考えた場合、ブースは15分以下で説明できる内容が好ましいと考えられます。また、説明にかかる時間をブース内に掲示しておくことをお勧めします（JSTから掲示のお願いをする場合もあるのでご承知おきください）。次ページのフォーマットを参考に、来場者への対応の流れを考えてください。

## ●ブースの時間配分の例



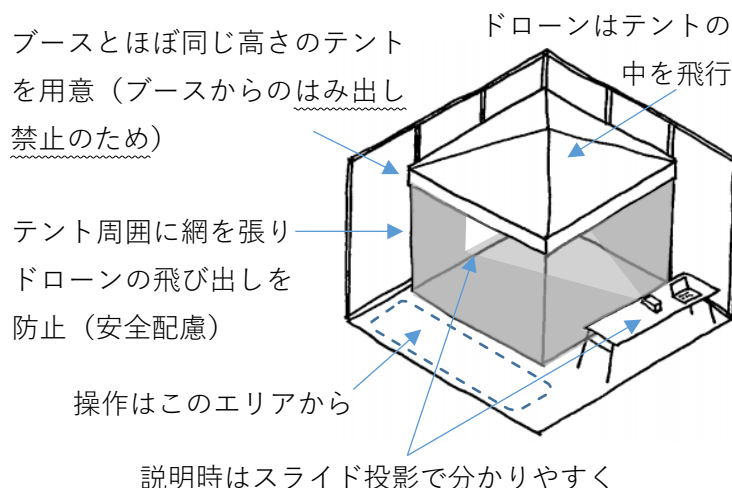
合計時間の目安  分～ 分 (例：最短展示 A のみ 10 分～最長展示 A から N まで 20 分)

## ●ブース内の配置例

展示は広いスペースがないとできない、と思い込んでいませんか？高さ 3m×奥行き 3m×高さ 2m の空間は思うより広いのです。工夫次第で、満足度の高い展示が実施できます。

サイエンスアゴラ 2017 の『はじめてのドローン～みんなの未来を体験しよう～』(慶應ドローン社会共創コンソーシアム&ドローン女子)は、3m×3m×2m のブース内を有

効活用していました。時間により、ドローンの操作と、シミュレータや実機等での説明を実施しました。ブースからはみ出しがなく、安全に気を配った模範的な配置で、見物する方へも広がりすぎないようにお願いをするなど、周辺への配慮もされていました。決まったスペースの中で、ルールを守りながら、どのような工夫をすれば参加者に楽しんでもらえるのか検討した結果が表れています。



- ・ ご自身の企画の装飾に、著作権処理を行わずにキャラクターを使用することはできません
- ・ 会場での物販は応募時に必ず申請し、出展内容に関連するもののみとします。また、科学コミュニケーションの一環として実施するものとし、営利目的のみでの参加はご遠慮ください(希望者には別途お知らせします)



## 付録：採択後のスケジュール

### 8月上旬～8月末まで：企画内容、タイトル、必要備品の確定

出展を成功させる担当者は採択後すぐに、効果的な告知と集客を意識し、出展内容を実施レベルで確定させています。8月下旬には、プログラム等に掲載する情報の確認・提出が切があります。関係者と打ち合わせを行い、当日の流れに沿って、必要な備品についてご検討ください（備品申請はプログラム情報の提出と同時期に手続きが必要です）。

### 9月上旬～：告知・広報の検討、実施

サイエンスアゴラ 2018 開催の広報は事務局が行いますが、**応募の条件にもあるように、個々の企画の告知・広報はご自身で行う必要があります**。サイエンスアゴラ全体の来場者が多くても、広報に失敗すると人は集まりません。集客に成功した企画の担当者は、以下のような取り組みを行っています（この担当者はサイエンスアゴラ 2016、2017 で 200 人規模のセッション会場を満席にしています）。



告知は開催の約 3 週間前です（メルマガでの直前リマインドを除く）。ターゲットは申請書作成の際に設定し、チラシ郵送やメールで告知します。例年、設定したテーマについて情報収集している人と接点がありそうな機関・団体を中心にアプローチします（調査時間も別途予定）。

1. **関係機関へのリーフレット郵送**：独自にリーフレットを作成し、公的機関や自治体の担当課等へ郵送。テーマと関係しそうな研究をしている研究者や実践者にも送付しました
2. **関係機関のメーリングリスト配信やサイト掲載依頼**：テーマに関連する WEB サイトを調べるとともに、登壇者の方に良い広報先を伺い、情報掲載を打診しました
3. **WEB サイトおよびメーリングリストと各種メルマガでの配信**：自分たちで所有するメーリングリストに加え、つきあいのある組織のメルマガにも掲載をお願いしました



### 9月下旬～：各種手続きと、台本の確定

来場者との対話内容を考え、台本を作成します。また、実施の際必要になるものを再確認します。保健所、消防署等への確認事項がある場合は早めに対応してください（各種の届けはご自身でお願いいたします）。

### 10月下旬～前日：リハーサル

余裕をもって準備し、リハーサルを入念に行うのが成功のコツ。以下のリストもご活用ください。

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 必要な物品を整理し荷物の配送を予定しておく | <input type="checkbox"/> 当日のスケジュールを整理する |
| <input type="checkbox"/> 話す内容、役割をスタッフ全員で確認しておく | <input type="checkbox"/> SNS 等で開催を案内する  |

サイエンスアゴラは 2018 年 4 月にブランドロゴをリニューアルし、生まれ変わりました



新しいロゴの検討にあたっては、京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab の協力を得ました。

詳細についてはサイエンスアゴラのウェブサイトをご覧ください

[http://www.jst.go.jp/csc/scienceagora/information/2018/info0426\\_1.html](http://www.jst.go.jp/csc/scienceagora/information/2018/info0426_1.html)

## ブランドロゴ コンセプト



発見やひらめきを感じた瞬間、人は大きな喜びを感じます。  
その気持ちが跳ね上がる瞬間を捉え、ロゴにしました。  
一つの要素が重なり、紡がれていく様子を表しており、  
多数の要素が集まることで大きく広がりを見せる場を象徴します。  
未来へとさらに発展していく様子を未完成な形で表し、  
人の対話とひらめきが重なりあい、未来を創る大きな力を表現します。